

トラック・船舶集約し輸送力増強

きょうから貨物列車の運転中止区間で代行輸送

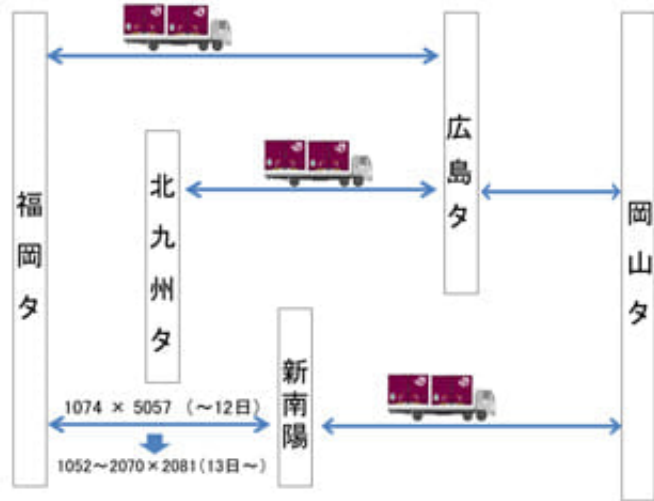
Edited By LogisticsToday On 2018/07/12

日本貨物鉄道（JR貨物）は11日夜、豪雨の影響で貨物列車の運転を中止している山陽線、伯備線、予讃線でトラックと船舶による代行輸送を12日から開始する、と発表した。

山陽線不通に伴う代行輸送の概要

（不通区間 下松～光、瀬野～八本松、河内～本郷）

トラック代行



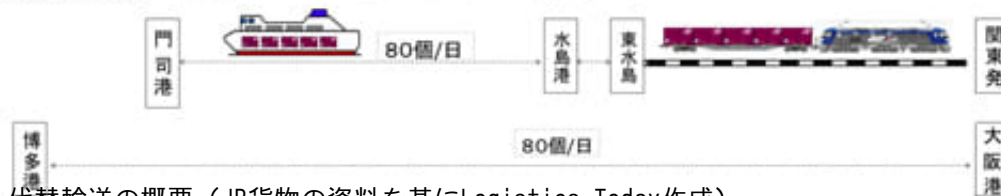
<折り返し列車> ※「タ」は「貨物ターミナル駅」の略

東京タ発 5073列車(発:8:09、着:22:40) ×
岡山タ発5060列車(発:20:13、着:7:12)

名古屋タ発 1095列車(発:19:52、着:2:59) ×
岡山タ発1094列車(発:0:18、着:6:43)

仙台タ発4084～5085列車(発:19:55、着:17:51) ×
岡山タ発1072～4085列車(発:7:13、着:5:06)

船舶代行 ※船舶によって個数は変わる可能性あり



▲代替輸送の概要（JR貨物の資料を基にLogistics Today作成）

トラックによる代行輸送は、（1）岡山貨物ターミナル駅（岡山市）と広島貨物ターミナル駅（広島市）の間（2）岡山貨物ターミナル駅と新南陽駅（山口県）の間（3）広島貨物ターミナル駅（広島市）と北九州貨物ターミナル駅（北九州市）の間（4）広島貨物ターミナル駅と福岡貨物ターミナル駅（福岡市）の間——の4区間。

船舶による代行輸送は、門司港（北九州市）と水島港（岡山県）の間で船舶を利用し、北九州貨物ターミナル駅と東水島駅（岡山県）を結ぶほか、博多港と大阪港の間を海上輸送に置き換えて福岡貨物ターミナル駅と百済貨物ターミナル駅で貨物を輸送する。

現在はこれらのプランを実現するための輸送力を「集約中」（JR貨物）で、具体的にどの程度の輸送力を代替でき

るかは不明だが、段階的に増強し改めて詳細を公表するとしている。

運転中止区間を通過する貨物は7月8日から新規受付を停止しているが、代行輸送では「新規受付の停止より前に受け付けたものの各駅で滞っている貨物」の輸送を優先し、その後に新たな貨物の輸送を引き受けていく。

代行輸送区間の前後では、貨物列車を接続して全国各地へ輸送できるようにするが、危険品などは輸送区間に制限のある場合がある。輸送時間、発着時間などの詳細は改めて公表する。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/320959>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.